

キヤノン財団研究助成プログラム

「善き未来をひらく科学技術 ～未来に向けた社会課題の解決を目指して～」 2022年 募集要項

1. 本プログラムの趣旨

理想の未来の実現に向けて、予見される社会課題を解決するための革新的な基礎技術研究を助成するプログラムです。

これまで人類は、社会の様々な課題に対して、新しい技術やアイデアで解決を図ってきましたが、その過程において人類に不都合な課題を生み出していることも否めません。地球規模の環境課題などはその一例です。さらに未来においては、未知のさまざまな科学技術が人類と社会に複雑で多様な影響を及ぼしているでしょう。これらの社会課題は様々な分野がからみあって多様化・複雑化しており、分野横断的な取り組みが求められています。

また一方で、人類がより豊かに生きる社会を実現するためには、未だ発見していない新しい価値の創出も必要です。そのためには今まで考えたこともないような新しい課題への取り組みが必要でしょう。

このような中、人類にとって本当に幸福な未来(善き未来)を迎えるためには、研究者自身が未来への構想を描き、複雑化する社会課題の解決、新しい社会基盤の構築にむけて高い理想に挑戦することが求められています。

本プログラムでは、まだ世の中で注目されていない独創的な視点、既存の分野にとらわれない萌芽的な研究、大きな夢のある提案を期待しています。

キヤノン財団は、研究者の挑戦を支援するため、助成期間中、選考委員や財団スタッフによるフォローアップを丁寧に行っています。善き未来の実現に向け、高い理想に果敢に挑戦して下さい。

2. 募集の概要

2. 1. 助成対象の研究分野

広範な自然科学の分野からのテーマ、また人文科学・社会科学を取り入れた自然科学のテーマが対象となります。過去に採択されてきた研究分野以外の広範で多様な分野からの提案もお待ちしております。

分野融合的な提案、今までにない分野を超えた新しい学術領域を作るような提案も歓迎します。

2. 2. 応募条件

研究代表者は、国内の大学および大学院（附属機関を含む）、大学共同利用機関、高等専門学校、その他公的研究機関等の何れかに勤務し、当該機関で実質的に研究できる方です。助成期間中に日本国内に居住している方が対象になりますが、国籍は問いません。助成申請に際し、代表研究者が勤務する大学・研究機関などの所属機関の上長（例えば、学長、大学院研究科長、学部長、研究所長など）から、「キヤノン財団研究助成申込書（研究代表者用）」に承認印（公印）を押印していただけてください。共同研究者は国内外を問いませんが、研究代表者は責任をもって共同研究者の研究の進捗や、海外への送金・使途など研究費を管理してください。研究代表者が他の応募案件の共同研究者となることは問題ありません。また、大学院生・学生は共同研究者にはなれません。

なお、研究代表者がすでに他の機関から同一課題・同一目的で助成を受けている研究は当財団の助成対象にならない場合があります。また、研究代表者は当財団に同一年度に複数の申請をすること、および当財団からすでに助成を受けている場合は助成期間が重複した申請をすることはできません。また、自身の過去採択件と同様、継続の研究内容は選考の対象外になります。「研究費の不正使用」等により公的機関の競争的資金への申請・参加資格を制限されている方は申請することができません。

2. 3. 助成金額

今回募集する新規採択総額は、「善き未来をひらく科学技術」、「新産業を生む科学技術」プログラムを合わせて 3億円を予定しています。

本プログラムでは思い切った大きな挑戦をしていただくため、1件あたりの助成金を比較的大きくしています。1件あたりの助成金の上限は 3,000 万円となり、採択数は 3 件程度を予定しています。

2. 4. 助成金の振込みおよび使途

助成金は原則所属機関に振込まれます。個人口座、海外口座への振込みはできません。助成金の振込みは 2023年 4月より開始し、研究計画に沿って年度毎に振込まれます。

助成金の使途は、申請された研究に必要な直接経費としてください。助成金をオーバーヘッド（間接経費、一般管理費）に充てることはできません。なお、助成期間終了時に残った研究助成金は原則返還していただきます。

また、当初予定からの予算の使途（購入目的、費目、金額等）変更に対して制限を少なくし柔軟に対応しております。変更のご要望が発生した場合は、まずはご相談ください。

※ キヤノン財団の助成研究に関わる学会・研究会やキヤノン財団主催のイベントへの参加に際し、臨時的に必要な託児料（時間外保育、夜間・休日保育などに係る費用）を直接経費で支出することが可能です。支出可否の判断や必要な証憑類などの確認を行いますので、必ず事前に財団までご確認ください。

2. 5. 助成期間

原則、3年間とします。

- ※ 助成対象研究期間中に妊娠・出産・介護・疾病・被災などの事情で研究を中断せざるを得ない場合には、助成期間の延長を認める場合があります。事務局で状況確認の上の、延長可否を判断いたしますので、ご相談ください。

2. 6. 応募期間

- ・電子申請期間：2022年 6月 1日(水) 10時～ 2022年 7月8日(金) 15時まで
- ・申請書pdfの電子データ提出：2022年7月8日(金)24:00必着
- ・研究代表者の研究助成申込書の電子データ提出：2022年7月29日(金)15:00必着

2. 7. 応募方法

応募にはホームページからの電子申請、申請書pdfの電子データ提出(7/8締切)と、研究代表者の研究助成申込書pdfの電子データ提出(7/29締切)が必要です。

詳細な手順は、当財団ホームページ“研究助成プログラム概要”、“研究助成公募のご案内”、“応募書類の記入と提出について”をお読みください。

なお、研究助成申込書の原本は、助成決定後に提出していただく予定ですので、保管をお願いします。また、応募の時点では共同研究者用の研究助成申込書の提出は不要です。

※電子申請期間及び申請書pdfの電子データ提出の期限は6/20に改定しました。

(1) 電子申請

当財団ホームページの“電子申請”から必要事項を入力して申請してください。研究テーマ名は、日本語全角半角 30 文字以内としてください。なお、電子申請、申請書、研究助成申込書に記載する研究テーマ名、助成申請額は必ず一致させてください。不一致の場合は受理できません。送信後「受付 No.」が自動返信されます。

※応募書類と電子申請の内容が一致するよう、必ず応募書類完了後に電子申請をお願いします。

※「電子申請後に、登録受付メールが届かない場合は、found-grant@mail.canonからのメールが迷惑メールなどに振り分けられていないか確認をお願いします。」

(2) 申請書 pdf の電子データ提出 (e-mail 送付)

電子申請後に自動返信された「受付 No.」を記入した申請書(word)を pdf に変換し、e-mail に添付してキヤノン財団助成応募宛(found-appli@mail.canon)に送信してください。

e-mail の件名は「受付 No.氏名送付月日申請」とし、添付する申請書 pdf のファイル名も「受付 No.氏名送付月日申請.pdf」としてください。なお、申請書 pdf のファイル容量は 5MB 以下

としてください。「申請書作成(善き未来)チェックシート」で最終確認した上、電子メールで送付してください。

＜例＞M22-XXXX 財団太郎 06XX 申請

(3) 研究助成申込書 pdf の電子データ提出(e-mail 送付)

電子申請後に自動返信された「受付 No.」を記入した申込書(word)を pdf に変換し、e-mail に添付してキヤノン財団助成応募宛(found-appli@mail.canon)に送信してください。

e-mail の件名は「受付 No.氏名送付月日申込」とし、添付する申込書 pdf のファイル名も「受付 No.氏名送付月日申込.pdf」としてください。なお、申込書 pdf のファイル容量は 5MB 以下としてください。

＜例＞M22-XXXX 財団太郎 06XX 申込

3. 選考方法と採否通知

3. 1. 選考方法

当財団の選考委員が書類審査による一次選考、および面接による二次選考を行います。選考委員会において慎重に審議の上、その答申案に基づき、2023年3月開催予定の財団理事会において正式決定されます。

3. 2. 選考基準

選考では、次の項目が重視されます。

・予見される社会課題を解決し、善き未来社会を実現するための構想が描かれ、そこに正当性がある。

・その構想を実現するための筋道や手段が示されており、妥当性がある。

また、以下の項目も考慮されます。

・挑戦性: 本質的な課題を提案し、挑戦的な目標が設定されている

・独創性: 着想に独創的な視点がある。

・革新性: 社会に変化をもたらしうる革新的な科学技術である。

3. 3. 結果通知

(1) 一次選考結果は 10 月末までに通知されます。別途、一次選考合格者には以下の二次選考書類の追加提出について連絡いたします。

・研究実施計画書

・共同研究者全員の研究助成申込書

共同研究者がいる場合は、「キヤノン財団研究助成申込書(共同研究者用)」を用いて共同研究者それぞれが勤務する大学・研究機関などの所属機関の上長(例えば、学長、大学院

研究科長、学部長、研究所長など。共同研究者が企業の場合はその上長など)から承認印(公印)を押印頂き、全員の研究助成申込書(共同研究者用、公印押印済みのpdf)を研究代表者が取りまとめて送付してください。

(2)二次選考結果は12月に内示の予定です。最終結果は、2023年3月開催予定の当財団理事会において正式決定後、直ちに研究代表者宛に通知されます。選考結果の理由等のご照会には回答いたしかねますのでご了承下さい。

なお、助成先一覧は、正式決定後に当財団ホームページ“研究助成先・成果報告”に掲載されます。

4. 採択内示後の助成対象者(研究代表者)の義務について

下記、提出物、イベントにつきましては必要な時期にご連絡いたします。

4. 1. 研究助成期間開始前の提出物

- (1)助成金振り込み調査票
- (2)担当窓口調査票
- (3)研究実施計画書
- (4)予算申請(会計報告書) 初年度研究代表者用
- (5)予算申請(会計報告書) 初年度研究代表者+共同実験者用
- (6)研究紹介(研究代表者)
- (7)研究者名簿(研究代表者および共同研究者)
- (8)研究助成承諾書(採択決定後)

4. 2. 研究助成期間中の提出物およびイベント

- (1)研究助成金贈呈式への出席(2023年4月予定)
- (2)当財団関係者の研究室訪問(研究助成期間中)
- (3)研究経過報告書(継続年度)
- (4)研究経過報告会での報告(継続年度)
- (5)研究経過報告会冊子掲載用報告書(継続年度)
- (6)研究成果報告書(期間終了後)
- (7)研究成果報告会での報告(期間終了後)
- (8)研究成果報告会冊子掲載用報告書(期間終了後)
- (9)会計報告書(継続年度および期間終了後)

4. 3. 研究発表

当財団の助成により得られた研究成果の積極的な公表をお願いいたします。研究成果発表には、当財団から研究助成を受けた旨お書き添えください。英文の場合、例えば、下記のような

Acknowledgement をお願いいたします。

<例> This work was (partially) supported by The Canon Foundation.

なお、当財団研究助成の成果に基づく特許または実用新案などの知的財産権に関し、当財団は権利を主張いたしません。

4. 4. 財団活動へのご協力

当財団の出版物への寄稿や各種発表会での講演をお願いすることがあります。

5. 変更発生の場合

助成期間中に所属機関の異動、当該研究の変更や中止、助成金の使途変更、あるいは他の研究者によって研究を遂行する必要性が生じた場合などには、遅滞なく当財団までご連絡ください。

6. 個人情報の取り扱いについて

応募時にご提供いただいた個人情報は、当財団研究助成の業務に必要な範囲内に限定して使用いたします。

2022年 6月
一般財団法人キヤノン財団